

# 平成29年度事業報告

## 1. 事業概要

平成29年度の我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかに回復し、輸出や生産の持ち直しが続くとともに、個人消費や民間設備投資が持ち直すなど民間需要が改善し、経済の好循環が実現しつつあります。

また、持続的な経済成長の実現に向け、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復が続くことが見込まれています。

こうした中、平成29年度の事業実績は、年度末正会員数は1,412人で前年度に対して41人の増となり、受託件数は5,512件で226件の減、契約金額は732,522,786円で8,994,921円の減となりましたが、一方で、従来受託事業とは別枠になる派遣事業においては、対前年比19,795,375円の実績増となりました。

地域に根ざした公益社団法人としてシルバー人材センターは、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、創意工夫を重ね、会員と就業の拡大を図りながら、地域社会に貢献してまいりました。

## 2. 事業実施状況

(1) 数値目標の達成については、次のとおりです。

- ① 会員数は、年度末直前までは前年をやや下回る数で推移しておりましたが、1月の入会者数が大きく伸びたこともあり、その結果1,412人となり、目標値1,450人に対して38人未達ではありますが、前年同時期に対して41人の増となりました。
- ② 契約金額は、目標値730,000,000円に対して実績額732,522,786円となり、2,522,786円の目標達成となりました。
- ③ 未就業会員数は、目標値200人以下に対して242人と、42人未達となりました。これは、年度末期(1~3月)に多くの入会者があり、対する就業紹介の機会がまかないきれなかったことによると考えられます。

(2) 就業機会の確保・提供について

- ① 入会説明会を前年同様に50回実施し、延549名(前年489名)の方が参加されました。これにより、シルバー人材センター事業の目的や趣旨に賛同した延318名(同314名)の方が新規に入会申し込みされました。また、男性会員に比べ少ない女性会員の登録数は400名と前年比49名増、構成率にして28.3%と前年比2.7ポイント増となりました。引き続き女性向けの職種の拡大を図り、入会促進に向け努力してまいります。

- ② 会員からの就業相談は随時受け付け、会員状況相談書を通じて希望職種や条件の見直しをお願いするなど、ミスマッチの解消を目指しました。また、事務局からの通信紙「シニア通信・アクティブ」に就業会員募集情報を載せて、希望する会員を募ることで、会員の希望により近いマッチングになるように工夫しました。さらには、一定期間未就業の新入会員に対して、個別の就業相談日を案内して、未就業の解消に向けて積極的に努力しました。
- ③ イベント等での普及活動に加えて、民間や公共の宣伝媒体を活用し年間を通じてPR活動を行いました。また、関連機関を通じて公共施設等へチラシ・パンフレット等の配布を行い、受注確保や拡充を図りました。
- ④ 派遣事業は堅調な伸びを見せて、前年比9件増の52件の受注に対し112名の会員が就労し、前年度実績の延人員8,579人日に対して12,645人日と、約47%の成長となりました。

### (3) 会員活動の充実について

- ① 駐輪場管理や公共施設管理に就業している会員を対象に「接遇力向上」「業務品質向上」をテーマに研修を実施し、全18回で計432名が参加しました。
- ② 千葉県連合会主催の講習会に70名の会員が参加して、ビル清掃の技術や接遇などの知識の向上に努めました。

### (4) 普及啓発活動について

- ① 地域や公共団体が主催する祭りや集会などに積極的に参加し、チラシ・パンフレット・ティッシュを配布するなどシルバー人材センターの普及啓発に努めました。
- ② 関連関係機関を通じて、高齢者の利用率の高い施設の窓口で会員募集チラシを配布していただきました。また、「シニア通信・アクティブ」を4回発行し、会員との情報共有を図りました。
- ③ 「シニア通信・アクティブ」と併せて会員募集チラシを会員に送付し、機会をみて配布していただくようお願いし、会員募集活動に繋げました。
- ④ JCOM(ケーブルテレビ局)の市川市広報番組で、シルバー人材センターの特集番組を計28回放送していただき、センターの仕組みなどを広くPRしました。
- ⑤ 「シニア通信・アクティブ」を通じて、センター会員として就業することが健康寿命を延ばしていくことにつながるということをPRしました。
- ⑥ ホームページにセンターの紹介動画を掲載し、見やすくわかりやすいホームページへPR効果のアップを図りました。

(5) 安全・適正就業の推進について

- ① 千葉県シルバー人材センター連合会主催の安全適正就業推進員の研修会に参加し、「高齢者の交通安全対策」および「就業中の危険予知の捉え方」について学び、センター内での研修会などで役立てました。
- ② 全会員に送付した「シニア通信・アクティブ」に、傷害事故・途上事故の報告および、熱中症やインフルエンザ予防などの啓発記事を掲載し、健康管理について呼びかけました。
- ③ 全国的にも増えている高齢者の交通事故について、「シニア通信・アクティブ」の送付とともに新入会員に対しチラシを配布し、交通安全の周知を図りました。
- ④ 市川警察署交通課を講師に迎え、「自転車の安全利用」についての自転車安全講習会を開催し、年度内に自転車に係わる事故を起こした会員を含めて 26 名が参加しました。
- ⑤ 機械を使つての草刈り作業に就業する 4 名の会員に対して、安全衛生教育の履修を支援しました。
- ⑥ 「熱中症予防について」の講習会を開催し、会員 40 名が参加しました。
- ⑦ 植木作業会員 22 名を対象に「墜落・転落・転倒災害防止」をテーマとした講習会を開催し、安全就業に対する意識向上を促しました。
- ⑧ 平成 30 年 2 月 1 日発行の「シニア通信・アクティブ」と一緒に「会員状況相談書・ヒヤリハット報告書」を全会員に送付して、就業中のヒヤリハット情報の収集と併せて、就業会員へは就業内容に変更がなく適正に就業されているかの確認と、条件面で折り合わず声掛けができていない未就業会員には希望職種や希望曜日・時間帯などを申告していただき、ミスマッチなく就業紹介ができるよう努めました。また、身の回りに潜む傷害事故を防止するため、危険事項とその対策を講じた啓発資料を配布し、注意喚起を行いました。
- ⑨ 安全・適正就業強化月間に会員就業先へ巡視を行い、安全・適正に就業が守られていることを確認しました。
- ⑩ 就業先と協議して、契約内容と会員の就業状況について確認のうえ見直しを行い、法令を遵守した適正な就業を図りました。結果として、センターの請負就業の形態として馴染みにくかった 2 事業所、会員 10 名の就業を派遣就業に切り替えました。

(6) 社会参加活動の推進について

- ① シルバー人材センター会員のボランティア団体「くすの木会」の活動として、江戸川クリーン作戦ゴミ拾い（5 月）に合計 20 名が参加しました。

## (7) 事業推進体制の強化について

- ① 法人の運営について、法令で求められている手続き等を適正に行いました。
- ② 理事会は、臨時持ち回り理事会開催 1 回を併せて計 7 回開催し、事業執行方針や規程・規則の改正など重要な案件を協議・検討し、円滑な事業運営が行えるように努めました。
- ③ 委員会活動は、企画総務・安全・普及啓発・就業開拓の 4 委員会体制となりました。

企画総務委員会は 3 回開催し、各委員会からの報告をもって、事業全般について意見交換をしました。

安全委員会は 4 回開催し、会員の安全・適正な就業についての意見交換をし、また、就業現場の巡視を行うことで就業状況の安全を確認しました。

普及啓発委員会は 2 回開催し、会員の拡大・確保につながる入会説明会資料やDVDの作成についての意見交換や、イベント会場での普及啓発活動などを行いました。

就業開拓委員会は 2 回開催し、会員の就業の確保について意見交換をし、未就業会員を対象に就業相談会を積極的に行うことで未就業の改善に繋げることが出来ました。

平成 30 年 6 月に役員が任期満了を迎えるため、理事・監事候補者選考委員会を総会までの期限として立ち上げ、次期役員候補者の選考を行いました。

- ④ 職員については、全国シルバー人材センター事業協会や千葉県シルバー人材センター連合会等の関連団体、及び民間団体が主催する各種会議・研修会に参加して知識を習得し、日常業務の円滑な執行に役立てました。
- ⑤ 毎日の終礼を継続することで情報と感情の共有化を図り、円滑かつ効率的な業務に繋げました。
- ⑥ 平田事務所棟の内装リフォーム及び事務局職員の机配置をリニューアルし、また、ルーティン業務を担う臨時職員 2 名を新規採用し、事務局体制の強化を図りました。